

子どもの虐待に対するアセスメントと支援

「この子、誰かに暴力を振るわれているんじゃない?」「あの子、誰かに性的被害を受けているんじゃない?」「ネグレクトされているんじゃない?」「いじめにあっているんじゃない?」子どもたちに何か心配なことを感じたとき、私たちはどうすればよいのでしょうか?

11月
2017年 18日 土

9:00 - 18:20

日本福祉大学
東海キャンパス

名鉄：太田川駅 徒歩5分

被害児を守るためには、

第一発見者が最小限のことだけを聞いて、

適切な機関につなげ、調査・捜査面接である司法面接(協同面接)で
詳細な聴き取りをしてもらうことが大切です。

適切な機関につなげるために、

子どもたちから何をどのように聞くべきなのか、

また、通告・通報後に実施される司法面接で

彼らに被害事実の詳細を語ってもらうためには、

最初の聞き取りの際、どんなことに気をつけなければならないのかを
知っていただくのが「RIFCR™ 研修」です。

講師

NPO 法人チャイルドファーストジャパン 認定講師
(コーナーハウス多機関連携子ども虐待評価・研修センター認定)

対象

どなたでも参加できます

定員

40名(定員になり次第締め切り)

受講料

8,000円(資料代込・税込)

申込方法

女性と子どものライフケア研究所へメールもしくはFAXにてお申込みください。
メール research@lifecarewc.org
FAX 050-3737-1215

● RIFCR™(リフカー)とは

性虐待だけでなく、身体的虐待やネグレクト、いじめなどにもご活用いただける面接技法です。

子どもと接するご職業の方はぜひご参加ください。

参加申込書

FAX 050-3737-1215

フリガナ 氏名			
住所	〒		
連絡先			
E-mail			
勤務先		職種	